

(別記)

## 2019 年度石巻市農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

石巻市は、宮城県の北東部に位置し、西部の平野の穀倉地帯からリアス式海岸の半島部まで、様々な特性をもった地域で構成されている。気候は、海洋の影響を受け寒暖の差が少なく、年平均気温は12.5℃、年間降水量は1,076.5mm、日照時間は2,103.4時間であり、冬季の積雪も少なく、四季を通じて安定した気候に恵まれた地域となっている。(気象庁統計2015データより)

平成23年3月に発生した東日本大震災の影響では、沿岸部を中心に1,771haの農地が津波の被害を受け、そのうち除塩対策、農地復旧工事等の取組により、平成31年3月末現在で約9割が復旧している。

水田面積に占める主食用米面積の割合は6割で、転作作物に占める小麦・大麦、大豆の面積が多く、ほ場整備の進展とともに土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

しかしながら、主食用米の需要が減少する中で、他の作物の作付けに転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、東日本大震災以降に農家戸数の減少が見られ、農地所有適格法人は増加傾向にあるが、農家の高齢化が進んでおり、後継者の確保が課題となっている。

### 2 作物ごとの取組方針等

市内の9,000ha強(不作付地を含む)の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

#### (1) 主食用米

震災により被災した水田の復旧による生産拡大を進め、需要に応じた主食用米の安定生産を図るため、品質向上、安定生産に向けた技術対策や省力・低コスト稲作への転換をより一層進め、売れる米づくりと米の主産地としての地位を確保し、収益性の向上を図る。

また、前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行うとともに、中食・外食等のニーズに対応した業務用米・加工用米の生産と安定取引の推進を図る。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米を米態様転作作物として安定して取り組めるよう、実需者との契約などの方策を推進する。また、飼料用米の生産拡大にあたっては、主に主食用米で取り組んでいることから収量増産に繋がる取り組みの推進及び団地化による低コスト化を図りながら推進する。また、畜産農家との耕畜連携による需要に応じた生産を推進し、取組の定着を促す。

##### イ 米粉用米

実需者からの需要が一定の水準に達していることから、当面は現状の作付面積を維持しつつも、新たな実需者の開拓を行い需要の拡大を推進する。

## ウ 新市場開拓用米

備蓄米から主食用米への転換による需給の不均衡が懸念されることから、将来に向けた取組として、今後大きな需要が見込まれる新たなマーケットの開拓を行い需要の拡大を推進する。

## エ WCS 用稲

畜産農家や実需者からの需要が一定の水準に達していることから、当面は現状の作付面積を維持しつつも、新たな実需者の開拓を行い需要の拡大を推進する。

## オ 加工用米

酒造用、加工食品用の加工用米の生産を、産地交付金を活用して担い手への集積を図りつつ、実需者との結びつきを強化し、生産を拡大していくこととする。

## カ 備蓄米

主食用米に替わる主要な転作作物であるとともに、水田フル活用作物として安定的に一定の規模を確保できることから、県別優先枠の全量作付を推進する。

### (3) 麦、大豆、飼料作物

生産調整の基幹作物として従来より実需者との結び付きが強く、今後、更なる需要の拡大が見込まれることから、水田フル活用の最重点作物として作付拡大を目指す。

取組にあたっては産地交付金を活用し、弾丸暗きよ等による排水、湿害対策や病虫害防除、適期収穫等の徹底による高品質化を図るとともに、生産体制の強化に向けて各種補助事業等の活用を図り、省力化や団地化、ブロックローテーション、規模拡大等に対応した生産性・収益性の高い産地の形成を推進する。水田フル活用を推進するため二毛作の取組定着を促す。

また、小麦については、ニーズのある中華めん等用小麦の作付け拡大を推進する。

飼料作物については、畜産物の安全・安心生産及び畜産経営安定化の観点から、自給飼料生産拡大を推進する。

### (4) そば、なたね

そばについては、地域の実需者との契約に基づき、ニーズの高い夏そばを中心に現行の栽培面積を維持する。また、水田フル活用を推進するため二毛作の取組定着を促す。なたねについては、取組なし。

### (5) 高収益作物（園芸作物等）

えだまめ、せり、いちご、トマト、なす、ほうれんそう、小ネギ、長ネギを地域特例作物の振興品目として拡大する。

### (6) 畑地化の推進

取り組み無し。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	5,574.0	5,608.0	5,458.0
飼料用米	210.5	225.0	225.0
米粉用米	0.0	0.2	0.2
新市場開拓用米	24.03	31.5	40.5
WCS用稲	16.2	75.6	75.6
加工用米	112.3	128.0	247.0
備蓄米	305.0	285.0	350.0
麦（基幹作）	475.0	700.0	700.0
麦（二毛作）	246.7	330.0	360.0
大豆（基幹作）	1,580.0	1,500.0	1,500.0
大豆（二毛作）	495.7	550.0	570.0
飼料作物	145.0	470.0	470.0
そば（基幹作）	12.6	15.5	17.0
そば（二期作）	12.6	15.5	17.0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	14.1	19.7	22.0
野菜	14.1	19.7	22.0
・えだまめ	9.6	11.7	12.0
・せり	4.5	8.0	10.0

### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	大豆 （基幹作物）	収量増の取組（大豆）	取組面積	2018年度 1,030 ha	2020年度 1,117 ha
			10a 当たり収穫量	186 kg/10a	234 kg/10a
2	大豆 （二毛作）	収量増の取組（大豆）	取組面積	2018年度 260 ha	2020年度 280 ha
			10a 当たり収穫量	190 kg/10a	200 kg/10a
3	大豆 （基幹作物）	大豆 300A 技術の 取組に対する助成	取組面積	2018年度 36 ha	2020年度 42 ha
			10a 当たり収穫量	170 kg/10a	200 kg/10a
4	大豆 （二毛作）	大豆 300A 技術の 取組に対する助成	取組面積	2018年度 22 ha	2020年度 26 ha
			10a 当たり収穫量	160 kg/10a	200 kg/10a
5	麦 （基幹作物）	収量増の取組（麦）	取組面積	2018年度 474 ha	2020年度 498 ha
			10a 当たり収穫量	334 kg/10a	378 kg/10a
6	麦 （二毛作）	収量増の取組（麦）	取組面積	2018年度 43 ha	2020年度 46 ha
			10a 当たり収穫量	257 kg/10a	405 kg/10a
7	飼料作物 （基幹作物）	団地加算（飼料作物）	1.6 ha以上の連坦団地化	2018年度 140 ha	2020年度 225 ha
			10a 当たり労働時間	8.1h/10a	7.9h/10a
8	飼料用米 （基幹作物）	団地加算（飼料用米）	1.6 ha以上の連坦団地化	2018年度 30 ha	2020年度 35 ha
			10a 当たり労働時間	18.4h/10a	17.1h/10a

9	えだまめ (基幹作物)	地域振興作物(えだまめ)団地化助成	取組面積	2018年度 9.60 ha	2020年度 12.00 ha
10	せり (基幹作物)	地域振興作物(せり)振興助成	取組面積	2018年度 4.50 ha	2020年度 10.00 ha
11	そば (基幹作物)	収量増の取組(そば)	取組面積 10a当たり収穫量	2018年度 12.6 ha 52 kg/10a	2020年度 16.0 ha 55 kg/10a
12	そば (二期作)	収量増の取組(そば)	取組面積 10a当たり収穫量	2018年度 12.6 ha 48 kg/10a	2020年度 16.0 ha 55 kg/10a
13	そば (基幹作物)	【国枠】そば助成	取組面積	2018年度 12.6 ha	2020年度 16.0 ha
14	麦・大豆・そば (二毛作)	二毛作助成 (麦・大豆・そば)	二毛作の取組面積 戦略作物(基幹作物)作付面積の内二毛作に取り組んでいる割合	2018年度 755 ha 44%	2020年度 947 ha 50%
15	飼料用米 (基幹作物)	耕畜連携助成 (稲わら利用)	耕畜連携助成(稲わら利用)の取組面積 飼料用米作付面積のうち稲わら利用に取り組んでいる割合	2018年度 189 ha 89%	2020年度 208 ha 99%
16	WCS用稲 飼料作物 (基幹作物)	耕畜連携助成 (資源循環)	耕畜連携助成(資源循環)の取組面積 WCS用稲、飼料作物作付面積のうち資源循環に取り組んでいる割合	2018年度 19 ha 12%	2020年度 27 ha 12%
17	新市場開拓用米 (基幹作物)	【国枠】新市場開拓用米助成	取組面積	2018年度 24.03 ha	2020年度 40.50 ha
18	新市場開拓用米 (基幹作物)	【地域枠】新市場開拓用米助成	取組面積 取組経営体	2018年度 24.03 ha 10経営体	2020年度 40.50 ha 14経営体

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり